

令和6年度

事業報告書



社会福祉法人
江津市社会福祉協議会

【1】概 要	1 頁
【2】事業実施報告	2～23 頁
I 地域福祉を担う人づくり	
(1) 福祉教育の推進	
①福祉教育実施校助成事業（共同募金助成事業）	2 頁
②江津市地域福祉学習推進モデル事業（共同募金助成事業）	2～3 頁
③あいサポート運動の推進	3 頁
④江津市総合社会福祉大会の開催（共同募金助成事業）	3 頁
⑤福祉ふれあいチャリティーバザーの開催	4 頁
(2) ボランティアなど市民活動の育成、支援	
①ボランティアセンター事業（養成、登録促進、団体連絡会、運営評価）	4～5 頁
②意思疎通・移動支援ボランティアの養成	5～6 頁
③民間助成事業の利用支援	6 頁
④高齢者等生活支援体制整備事業	6～7 頁
II 地域福祉を展開する地域づくり	
(1) 地域福祉活動の体制づくり	
①高齢者等生活支援体制整備事業【再掲 I-(2)-④参照】	7 頁
②民間助成事業の利用支援【再掲 I-(2)-③参照】	7 頁
③社協地区支会との連携強化と活動の活性化〔社協支会活動助成（共同募金助成事業）〕	7 頁
④地域介護予防活動支援事業	7～8 頁
⑤障がい者サロン事業	8 頁
⑥福祉委員制度の理解を定着促進させるための見直し	8～9 頁
⑦江津市社会福祉法人連絡会の活動推進	9 頁
⑧市内各地区敬老の日のつどい事業（共同募金助成事業）	9 頁
(2) 安心・安全を支える地域のネットワークづくり	
①災害ボランティアセンターの体制整備	9～10 頁
②災害ボランティアの養成	10 頁
③災害ボランティアコーディネーターの育成・養成	10 頁
④地域介護予防活動支援事業【再掲 II-(1)-④参照】	10 頁
⑤防犯・見守り活動	10～11 頁
III 地域福祉を支える包括的支援体制づくり	
(1) 重層的支援体制整備事業の推進	
①地域介護予防活動支援事業【再掲 II-(1)-④参照】	10 頁
②生活支援まごころフレッシュサービス事業	11 頁
③江津和光園ふれあい講座の開催（共同募金助成事業）	11 頁
④歳末声かけボランティア事業（共同募金助成事業）	12 頁
⑤骨髄バンク基金事業	12 頁
⑥福祉バス運行事業（社会福祉活動基金事業）	12 頁
⑦生活福祉資金貸付事業	13 頁
⑧民生基金貸付事業	13 頁
⑨ふれあい福祉センター総合相談事業	13～14 頁
⑩福祉委員制度の理解を定着促進させるための見直し【再掲 II-(1)-⑥参照】	14 頁
⑪高齢者等生活支援体制整備事業【再掲 I-(2)-④参照】	14 頁
⑫生活困窮者自立相談支援事業	14 頁
(2) 情報提供体制の充実	
①広報紙の発行およびホームページの更新	14 頁
②広報紙の点訳および音訳による情報提供【5 頁/ I-(2)-②参照】	14 頁

(3) 生活困窮者自立支援事業の推進

- ①生活困窮者自立相談支援事業【再掲Ⅲ-(1)-⑫参照】・・・・・・・・・・15頁
- ②緊急一時食糧支援事業（フードバンク事業）・・・・・・・・・・15頁
- ③生活困窮者日用品等提供事業・・・・・・・・・・15頁
- ④入居債務保証支援事業・・・・・・・・・・15～16頁

(4) 地域福祉に関する基盤整備

- ①福祉バス運行事業（社会福祉活動基金事業）【再掲Ⅲ-(1)-⑦参照】・・・・・・・・16頁
- ②社協地区支会との連携強化と活動の活性化〔社協支会活動助成（共同募金助成事業）〕
【再掲Ⅱ-(1)-③参照】・・・・・・・・16頁
- ③民間助成事業の利用支援【再掲Ⅰ-(2)-③参照】・・・・・・・・16頁
- ④社会福祉活動基金事業（福祉団体助成）・・・・・・・・・・16頁
- ⑤本協議会の体制づくり（組織運営体制の見直し・再編）・・・・・・・・16～18頁
- ⑥研修会等への参加・・・・・・・・・・17～18頁

(5) 権利擁護・虐待防止対策の推進

- ①日常生活自立支援事業・・・・・・・・・・18～19頁
- ②法人後見受任事業・・・・・・・・・・19頁
- ③市民後見人の養成・育成・・・・・・・・・・19～20頁
- ④権利擁護の普及啓発および権利擁護人材の育成・・・・・・・・20～21頁

(6) 再犯防止の推進

- ①高齢者等生活支援体制整備事業【再掲Ⅰ-(2)-④参照】・・・・・・・・21頁
- ②生活福祉資金貸付事業【再掲Ⅲ-(1)-⑦参照】・・・・・・・・21頁
- ③民生基金貸付事業【再掲Ⅲ-(1)-⑧参照】・・・・・・・・21頁
- ④ふれあい福祉センター総合相談事業【再掲Ⅲ-(1)-⑨参照】・・・・・・・・22頁
- ⑤広報紙の発行およびホームページの更新【再掲Ⅲ-(2)-①参照】・・・・・・・・22頁
- ⑥日常生活自立支援事業【再掲Ⅲ-(5)-①参照】・・・・・・・・22頁
- ⑦法人後見受任事業【再掲Ⅲ-(5)-②参照】・・・・・・・・22頁
- ⑧緊急一時食糧支援事業（フードバンク事業）【再掲Ⅲ-(3)-②参照】・・・・・・・・22頁
- ⑨生活困窮者日用品等提供事業【再掲Ⅲ-(3)-③参照】・・・・・・・・22頁
- ⑩入居債務保証支援事業【再掲Ⅲ-(3)-④参照】・・・・・・・・22頁
- ⑪社会福祉活動基金事業（福祉団体助成）【再掲Ⅲ-(4)-④参照】・・・・・・・・22頁

(7) 団体事務の受託

- ①江津市民生児童委員協議会（団体事務の受託）・・・・・・・・23頁
- ②江津市老人クラブ連合会（団体事務の一部受託）・・・・・・・・23頁
- ③江津市共同募金委員会（団体事務の受託）・・・・・・・・23頁
- ④日本赤十字社島根県支部江津市地区（団体事務の受託）・・・・・・・・24頁

【1】概 要

少子高齢化・人口減少の加速化する社会の中で、長引く物価高騰等による不安定な経済情勢や温暖化する気候・地殻変動がもたらす大規模自然災害などから、地域における住民の安全・安心な暮らしの担保に必要とされるコミュニティの維持困難な地域が増えていくことが懸念されております。また、人と人とのつながりが希薄する中、地域内での交流や相互の支え合いなどの意識低下等から自治会・町内会の加入者が減少傾向にあり、今後、近隣住民による声かけや見守り等の互助・共助が弱まれば、ひきこもりやダブルケアラー等、日常生活における多様で複雑に絡みあった課題を抱え、孤立状態に陥る人が増え深刻化する恐れもあります。

本協議会は、地域福祉の枠組みを広く捉え、地域で暮らし続けるすべての住民が、地域福祉をはじめあらゆる場面に参加、活躍ができる地域共生社会の実現に向けて、島根県社協が策定した社協・生活支援活動強化方針「しまね版アクションプラン」にある地域福祉の基本的な考えを踏まえ、市行政が策定した、第4次江津市地域福祉計画と密接な関係にある「第4次江津市地域福祉活動計画（令和6年3月策定、同年4月1日施行）」をもとに、令和6年度計画された各事業について、着実に取り組むための事業展開に努めました。

しかし、一部事業については、調整等の困難な事由から、当初計画した事業内容の変更や縮小、中止を余儀なくされることとなりました。そして、今年度、計画に掲げた諸事業の推進について、重点的に推進する事項の3項目は、次のとおり取り組みました。

『災害ボランティアセンター運営体制の強化につなげるための訓練等』に関しては、当初の計画では、災害ボランティアセンターの運営に携わっていただけるよう、地域の住民参加を含む災害ボランティアのコーディネーターや運営支援者などの人材を育成するための訓練実施としていました。しかし、年度途中、島根県社協と県内19市町社協による緊密な連携・協働するため、災害ボランティアセンターの※ICT化に関する導入計画の説明や研修を受けて、災害時における被災者への支援活動を効果的・効率的に行うことを優先して、運営体制の強化につなげたいと考え、その準備を進めるため取り組み内容を変更して実施しました。**【詳細 10 頁記載】**

※ICT化＝「Kintone」を活用したネットワーク通信の利用により被災者支援活動に関するデータの一元管理や情報等の共有化
＊次年度も継続実施

『本協議会の事務組織体制の充実強化』に関しては、地域で暮らす住民の日常生活における多様で複雑に絡みあった今日的課題をしっかりと受け止め、その解決に向けて「相談支援」「地域づくり」「地域参加」を核とする重層的支援体制整備が市行政との連携、協力により一体的に推進することが必要になります。本協議会の事務組織におけるマンパワーの充実強化に必要とされる職員増員を前提とした市行政との協議等に精力的に取り組み、次年度における本協議会の事務組織体制強化に努めました。**【詳細 11-14 頁・16-18 記載（特に 16-18 頁が主）】**

『権利擁護の普及・啓発によるその制度利用の促進と充実』に関しては、誰もが安心して暮らせる地域社会を目指して、石見成年後見センター会員による成年後見制度普及啓発講演会を開催し多くの市民の方々が成年後見制度について、自分自身や家族や大切な人など身近に捉えていただけるよう普及啓発に取り組みました。併せて、市民で支える成年後見制度講座～市民後見人講座～の開催や本協議会広報紙「ごうつ社協」に、権利擁護に関する情報提供をわかりやすく毎号連載等、誰もが持つ人格権や財産権などの権利擁護の充実に努めました。**【詳細 18-22 頁記載】**

なお、各事業の具体的な実施状況については、以下（次頁以降）のとおり報告いたします。

(1) 福祉教育の推進

事業名	②江津市地域福祉学習推進モデル事業（共同募金助成事業） 2年目：最終年
事業内容	地域福祉の推進には、「福祉学習に始まり、福祉学習に終わる」という、反復、継続した学習機会が必要とされている。地域の生活課題、福祉課題に気づき、考え、行動し、発展させる地域ぐるみの福祉学習を推進し、地域のニーズに応えた活動を実践することによって、地域福祉を担う人づくりや地域の福祉力向上を図る。 ※事業実践者を選定（指定）した2カ年のモデル事業。（令和5年度から令和6年度までの2カ年） ※事業実践者には助成金を交付。（令和6年度：90,000円）
対象者	江津市社会福祉協議会地区支会
成果等	○地域における以下の「生活課題・福祉課題」を地域ぐるみの福祉学習に位置付け、地域のニーズに応える活動が実践できるよう地域福祉学習会（地域の課題解決を図るための座談会）を地域（事業実践者）主体とした実施にかかる総合的な支援を行った。 ・事業実践者 江津市社会福祉協議会敬川支会・敬川まちづくり協議会 ・地域福祉学習のテーマ（地域における生活・福祉課題の実態調査及び買い物バス移動支援） 敬川地域における一人暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯の一部において、自動車運転免許証の返納等により、買い物、通院などへの移動手段が失われた移動困難高齢者を支援するため、

	福祉バス活用による買い物バスの運行を試行的に実施。 日常生活に支障をきたす高齢者等の課題把握のため、同地域の高齢者等を対象にした日常生活における困りごとアンケート調査の実施。その結果をもとに、「こまりと支援隊（仮称）」を立ち上げ、有償ボランティアによる高齢者や離郷者等の困りごとの支援体制を整備。 ・参加者 江津市社会福祉協議会敬川支会長、川波地区民児協敬川支部民生委員児童委員、敬川まちづくり協議会関係者、敬川連合自治会長 島根県社会福祉協議会石見支所職員 江津市地域包括支援センター第1層生活支援コーディネーター 江津市社会福祉協議会職員（地域福祉課長、第2層生活支援コーディネーター） 10名程度 ・学習会 毎月1回定期開催（第3水曜日午前中）※途中一時休止あり
備考	年度途中、参加者内における齟齬や乖離等が生じたことにより、様々な修正等を経て、新たに立ち上げられた「こまりと支援隊（仮称）」が地域住民に十分に理解され、また、有償ボランティア団体として安定するまでの間、今後も地域の実情に応じた関わり（支援）を継続予定。

事業名	③あいサポート運動の推進																		
事業内容	住民だれもが、多様な障がいの特性、障がいのある方が困っていること、障がいのある人への必要な配慮などを理解し、ちょっとした手助けや配慮を実践することにより、障がいのある方が暮らしやすい地域社会（共生社会）の実現を目指す。																		
対象者	市民等																		
成果等	○障がいの特性や必要な配慮などを理解して障がいのある方々を手助けする「あいサポーター」を普及するため、市内の小中学校や社会福祉協議会地区支会等に、「あいサポーター研修」の開催案内を行って、下記の依頼により実施した。 ・令和6年度あいサポーター研修実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th><th>受講団体等</th><th>メッセンジャー</th><th>参加者 (修了者)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月27日（金）</td><td>江津市民生児童委員</td><td>職員</td><td>74名</td></tr> <tr> <td>12月3日（火）</td><td>島根県立江津高等学校・3年生</td><td>職員</td><td>13名</td></tr> <tr> <td>2月18日（火）</td><td>江津市立江東中学校・3年生</td><td>職員</td><td>10名</td></tr> </tbody> </table> 【合計：97名】 【参考】令和5年度実績：参加者（修了者）42名			開催日	受講団体等	メッセンジャー	参加者 (修了者)	9月27日（金）	江津市民生児童委員	職員	74名	12月3日（火）	島根県立江津高等学校・3年生	職員	13名	2月18日（火）	江津市立江東中学校・3年生	職員	10名
開催日	受講団体等	メッセンジャー	参加者 (修了者)																
9月27日（金）	江津市民生児童委員	職員	74名																
12月3日（火）	島根県立江津高等学校・3年生	職員	13名																
2月18日（火）	江津市立江東中学校・3年生	職員	10名																
備考																			

事業名	④江津市総合社会福祉大会の開催（共同募金助成事業）		
事業内容	○社会福祉関係者や市民が一堂に会する大会を開催し、多年にわたり社会福祉に貢献された方々を表彰するとともに、実践発表等を通じて、より一層の福祉意識の醸成を図る。 ○江津市総合社会福祉大会運営委員会の開催（大会内容等の検討） ○江津市総合社会福祉大会表彰審査委員会の開催（被表彰候補者の審査）		
対象者	江津市社会福祉関係者並びに市民		
成果等	○次のとおり開催し、地域福祉の意識向上を図り「福祉のまちづくり」を推進した。 ・日時、会場 令和6年11月13日（水）13：30～ 江津市総合市民センター大ホール ・出席者 約200名 第1部 式典 表彰状授与者 1団体・7名・感謝状授与者 5名 第2部 講演会 講師：出雲市総合ボランティアセンター 演題：災害支援活動について		
備考	5年振りにコロナ以前の開催形式とし、式典及び講演会を通して福祉の醸成を図った。		

事業名	⑤福祉ふれあいチャリティーバザーの開催								
事業内容	○市民の皆様から提供していただいた品物を販売し、その収益金により市内の福祉事業の推進を図ることを目的として開催。（収益金は共同募金として取り扱う） ○福祉ふれあいチャリティーバザー運営委員会の開催（運営方法等について検討）								
対象者	市民（市民以外も含む）								
成果等	○現状の福祉ふれあいチャリティーバザーの実施に様々な課題が生じているため、定例の福祉ふれあいチャリティーバザー運営委員会（10月16日開催）開催前に、事前運営委員会や検討委員会を開催して、貴重な意見等をいただいた。しかし、運営委員の意見を参考に開催方法を見直して実施するためには、調整困難な事項もあるため実現に至らなかった。このため、令和5年度と同様の形態で開催することを決定した。詳細は以下のとおり。 令和6年度実績 <table border="1"> <tr> <td>開催日時</td><td>令和7年1月13日（日）9:30～12:30</td></tr> <tr> <td>会場</td><td>・江津市総合市民センター 2階大会議室</td></tr> <tr> <td>内容</td><td>・来場者数：約134名（令和5年度：約186名） ・収益金：159,640円（令和5年度：202,070円）</td></tr> <tr> <td>備考</td><td>・出店予定団体：江津ライオンズクラブ（諸事情により出店なし）</td></tr> </table>	開催日時	令和7年1月13日（日）9:30～12:30	会場	・江津市総合市民センター 2階大会議室	内容	・来場者数：約134名（令和5年度：約186名） ・収益金：159,640円（令和5年度：202,070円）	備考	・出店予定団体：江津ライオンズクラブ（諸事情により出店なし）
開催日時	令和7年1月13日（日）9:30～12:30								
会場	・江津市総合市民センター 2階大会議室								
内容	・来場者数：約134名（令和5年度：約186名） ・収益金：159,640円（令和5年度：202,070円）								
備考	・出店予定団体：江津ライオンズクラブ（諸事情により出店なし）								
備考	今後も継続する場合、市民の皆様から品物を提供していただく仕組みでは、売り上げにつながる品物の提供への期待は極めて難しいので、今後、事務局内で検討の際、若干の運営委員にも参加していただく方法を選択肢に入れながら協議することが必要。								

I 地域福祉を担う人づくり

(2) ボランティアなど市民活動の育成、支援

事業名	①ボランティア（ボランティアリーダー含む）の養成〔ボランティアセンター事業〕																	
事業内容	福祉をはじめ様々なボランティア活動に関する情報提供などを、積極的に機会を捉えて地域や学校などに行い、一人でも多くの市民ボランティア活動への参加の意義や理解が深められるようその養成に努める。また、ボランティアを求めている個人や施設・団体とボランティア活動を希望する人やグループを結びつける等、ボランティア活動の充実強化を図るため以下の活動を行う。 (1) ボランティア登録の促進（相談、斡旋、連絡調整） (2) 情報提供 (3) 各種出前講座（講習会）開催、指導（車椅子、高齢者の日常動作の疑似体験指導等） (4) 障がい者支援ボランティアの養成・育成【Ⅰ-(2)-②参照】 (5) ボランティア研修会・講演会の開催 (6) 活動基盤充実（ボランティア保険加入促進） (7) 生活支援まごころフレッシュサービス事業【Ⅲ-(1)-②参照】 (8) 歳末声かけボランティア事業【Ⅲ-(1)-④参照】 (9) ボランティア団体連絡会の開催 (10) ボランティアセンターの運営評価（ボランティアセンターの運営委員会の開催）																	
対象者	市民																	
成果等	○登録者 <table><tr><td>個</td><td>人</td><td>34名</td><td>（前年度比7名増）</td></tr><tr><td>団</td><td>体</td><td>64団体</td><td>（前年度比4団体減）</td></tr><tr><td>団</td><td>体</td><td>構</td><td>成</td><td>員</td><td>1,633名</td><td>（前年度比95名減）</td></tr></table> 新規団体：今井美術館ボランティアの会 解散団体：二宮6-3自治会防犯グループ 昭一会 渡津万寿会 二宮ボランティア はらぺこファーム ○情報発信 行事（江津市障がい者協会主催のバス旅行）でのボランティア募集（2名の支援者が応募） 行事（江津社協主催の第三回ひだまりサロン）でのボランティア募集（5名の支援者が応募）			個	人	34名	（前年度比7名増）	団	体	64団体	（前年度比4団体減）	団	体	構	成	員	1,633名	（前年度比95名減）
個	人	34名	（前年度比7名増）															
団	体	64団体	（前年度比4団体減）															
団	体	構	成	員	1,633名	（前年度比95名減）												

	広報紙「ごうつ社協」第191号ボランティアセンターからの情報掲載 島根いきいき広場 聞こえのサポーター養成講座、ボランティア研修会のイベント情報掲載。																																																											
	○各種講座																																																											
	<table><tr><th>期日</th><th>対象者</th><th>参加者</th><th>内 容</th></tr><tr><td>6/25</td><td>渡津小学校3年生</td><td>10名</td><td>車いす体験</td></tr><tr><td>9/13</td><td>川波小学校4年生</td><td>8名</td><td>高齢者疑似体験</td></tr><tr><td>10/18</td><td>川波小学校4年生</td><td>8名</td><td>車いす体験</td></tr><tr><td>10/29</td><td>川波小学校4年生</td><td>8名</td><td>盲導犬の学習 ※</td></tr><tr><td>11/1</td><td>高角小学校3年生</td><td>30名</td><td>車いす体験</td></tr><tr><td>11/19</td><td>桜江中学校2年生</td><td>12名</td><td>高齢者疑似体験</td></tr><tr><td>12/18</td><td>桜江小学校3年生</td><td>9名</td><td>盲導犬の学習 ※</td></tr><tr><td>1/24</td><td>渡津小学校3年生</td><td>11名</td><td>高齢者疑似体験</td></tr><tr><td>1/28</td><td>江東中学校3年生</td><td>9名</td><td>高齢者疑似体験</td></tr><tr><td>2/4</td><td>郷田小学校5年生</td><td>22名</td><td>車いす体験</td></tr><tr><td>2/12</td><td>郷田小学校5年生</td><td>24名</td><td>高齢者疑似体験</td></tr><tr><td>2/17</td><td>桜江小学校3年生</td><td>12名</td><td>車いす体験</td></tr><tr><td>2/25</td><td>桜江小学校3年生</td><td>12名</td><td>高齢者疑似体験</td></tr></table>				期日	対象者	参加者	内 容	6/25	渡津小学校3年生	10名	車いす体験	9/13	川波小学校4年生	8名	高齢者疑似体験	10/18	川波小学校4年生	8名	車いす体験	10/29	川波小学校4年生	8名	盲導犬の学習 ※	11/1	高角小学校3年生	30名	車いす体験	11/19	桜江中学校2年生	12名	高齢者疑似体験	12/18	桜江小学校3年生	9名	盲導犬の学習 ※	1/24	渡津小学校3年生	11名	高齢者疑似体験	1/28	江東中学校3年生	9名	高齢者疑似体験	2/4	郷田小学校5年生	22名	車いす体験	2/12	郷田小学校5年生	24名	高齢者疑似体験	2/17	桜江小学校3年生	12名	車いす体験	2/25	桜江小学校3年生	12名	高齢者疑似体験
期日	対象者	参加者	内 容																																																									
6/25	渡津小学校3年生	10名	車いす体験																																																									
9/13	川波小学校4年生	8名	高齢者疑似体験																																																									
10/18	川波小学校4年生	8名	車いす体験																																																									
10/29	川波小学校4年生	8名	盲導犬の学習 ※																																																									
11/1	高角小学校3年生	30名	車いす体験																																																									
11/19	桜江中学校2年生	12名	高齢者疑似体験																																																									
12/18	桜江小学校3年生	9名	盲導犬の学習 ※																																																									
1/24	渡津小学校3年生	11名	高齢者疑似体験																																																									
1/28	江東中学校3年生	9名	高齢者疑似体験																																																									
2/4	郷田小学校5年生	22名	車いす体験																																																									
2/12	郷田小学校5年生	24名	高齢者疑似体験																																																									
2/17	桜江小学校3年生	12名	車いす体験																																																									
2/25	桜江小学校3年生	12名	高齢者疑似体験																																																									
	※印の講座は出前講座に登録していない講座です。																																																											
	○ 江津市内11の小中学校の内、7校で11の出前講座、2回の講座を開催する事ができた。 近隣の社会福祉施設の方や、視覚障がい者で盲導犬を飼っている方の協力を得て、ボランティア活動への理解を深める機会になっている。																																																											
	○ボランティア研修会の開催																																																											
	3/23 「講演」 令和時代に伝えたい住民参加型のまちづくりの意義や皆が納得できる活動 「講師」 合同会社フォーティ R&C 代表 水津陽子氏 受講者約60名																																																											
備考	事業内容(9) ボランティア団体連絡会は、現在、本ボランティアセンター登録の64団体体に連絡する内容等が纏めきれず、また、各登録団体と調整不足により開催中止とした。																																																											

事業名	②意思疎通・移動支援ボランティアの養成
事業内容	視覚障がい者を支援する点訳ボランティアや音訳ボランティア、聴覚障がい者を支援する手話奉仕員や筆談等による聞こえのサポーター、歩行が困難な方が外出の際に付き添うガイドヘルパー等を年度ごとに選定して、ボランティアの養成講座やフォローアップ研修を開催する。 ○手話・音訳レベルアップ講座 登録者を対象に、手話は必要な知識や技術を学びコミュニケーション力を身に着ける講座、音訳は、市広報、社協広報、議会だより等を音訳提供の際に必要な知識と技術を学ぶ講座や広報紙の点訳および音訳による情報を提供する。
対象者	市民
成果等	○手話奉仕員レベルアップ講座 ・開催回数 2回 (前年度比±ゼロ) ・延べ受講者数 7名 (前年度比 3名減) ○音訳スキルアップ勉強会 ・開催回数 2回 (前年度比 1回減) ・延べ受講者数 9名 (前年度比±ゼロ) ○聞こえのサポーター養成講座 ・開催回数 3回シリーズ ・受講者数 34名 (延べ人数) ・修了証発行人数 9名

	○広報紙の点訳および音訳による情報提供 年間5回
備 考	・新しい講座を受講して、個人ボランティア登録完了3名 ・益田市で開催の要約筆記養成講座参加1名

事業名	③民間助成事業の利用支援
事業内容	民間助成事業の利用促進により、地域福祉活動等の活性化を図る。
対象者	不定（それぞれの実施主体が定めるため）
	○大和証券財団ボランティア活動助成に1団体から申請希望があり、その支援を行うため、応募団体に関するコメントを可能な限り記載（申請に必須）したが、結果は不採択となった。
備 考	全国公募のため、年々申請内容の審査が厳しくなる傾向にあるため、申請書に団体が行っているボランティア活動の社会的意義をどれだけ書き込めるかが今後の可否のポイントとなることを、申請団体に伝えていきながらフォローする必要がある。

事業名	④高齢者等生活支援体制整備事業
事業内容	生活支援コーディネーターを配置し、地域住民や多様な主体との対話やネットワークの構築を行うことを通じ、関係者の間で地域の現状や将来像の共有を図るとともに、地域住民や多様な主体ごとの多様な価値判断を尊重しながら地域での共創を推進するため、次のaからeまでに掲げるコーディネート業務を実施する。 a 高齢者の支援ニーズ・関心事や地域住民を含む多様な主体の活動の状況の情報収集及び可視化 b aを踏まえた、地域住民や多様な主体による生活支援・介護予防サービスの企画・立案、実施方法の検討に係わる（国が定める要綱と同じ文言を記載のため修正不可） c 地域住民・多様な主体・市町村の役割（地域住民が主体的に行う内容含む。）の整理、実施目的の共有のための支援 d 生活支援・介護予防サービスの担い手（ボランティア含む。）の養成、組織化、具体的な活動とのマッチング e 支援ニーズと生活支援・介護予防サービスとのマッチング ※第1層生活支援コーディネーターはa～dの業務で、第2層生活支援コーディネーターはa～eの業務となる。 また、場合によっては多様な主体間の情報共有及び連携・協働による体制整備を推進するための協議体を設置する。
対象者	65歳以上の方
成果等	○高齢者に必要な生活支援や介護予防の情報をまとめた「高齢者のためのGO！つながる情報紙」を製作。 *高齢者に関わる団体（社協支会、民生委員、介護事業所、地域包括支援センター、コミセンなど）に周知配布。 ○地域のつながり活動を情報共有するための「みんなの情報カフェ」を企画・立案。 *開催日：3月10日、参加者：32名、内容：アンケート実施 ○生活支援コーディネーターの支援モデル事業に参加。 高齢者の個人のニーズとマッチングの支援を受けた。今まで希薄だったケアマネージャーとの連携を図る。地域包括ケアシステムが構築された地域づくりをつくるための活動となった。 ○民生委員の定例会に参加し地域の個別ニーズを把握。関連機関につなげる役割を果たした。（今年度は民生委員やケアマネージャーからの個別ニーズ相談を受け、つなぐという活動が主。） ○5/29 敬川地区で浜田市金城町へボランティアタクシーの視察を実施。 ○6/6 地域の有償ボランティアについて「困りごと救援隊」を立ち上げ運営の先進実践地域（黒松）

	と立ち上げ検討地域（敬川）の情報交換の場を設けた。 ○12月敬川地区で生活の困りごとに関するアンケートを80歳以上の方に実施。 回収率100%。アンケート集計作業を支援。 ○地域ケア会議の出席。（計9回） ○桜江小さな拠点づくりモデル事業高齢者生活利便性向上事業終了。 *今後も移動販売と桜江地区の買物バスツアーを継続するため、第2層協議体は設置していく。
備 考	

Ⅱ 地域福祉を展開する地域づくり

(1) 地域福祉活動の体制づくり

事業名	①高齢者等生活支援体制整備事業【再掲Ⅰ-(2)-④参照】
-----	------------------------------

事業名	②民間助成事業の利用支援【再掲Ⅰ-(2)-③参照】
-----	---------------------------

事業名	③社協地区支会との連携強化と活動の活性化〔社協地区支会活動助成（共同募金助成事業）〕
事 業 内 容	小地域の誰もが安心して暮らせるよう、援助を要する人たちの把握と見守り、声かけを基本とした個別援助活動、ふれあいサロン、老人給食、子育てサロンなどの集団援助活動などを支援する。社協地区支会に関する運営費の支援は、社協会費の実績額に応じて助成金を交付する。また、活動費は、江津市共同募金委員会から助成金を交付する。
対象者	社協地区支会（支会長）及び地域福祉に関わるボランティア団体等住民全般
成果等	○23地区社協活動により、地域福祉活動とネットワークの充実に貢献し、小地域の福祉の充実に大きな役割を果たしている。 ○社協地区支会（23支会）の助成金交付について ・運営費：541,608円（総額）、活動費：3,806,733円（総額）
備 考	

事業名	④地域介護予防活動支援事業									
事業内容	○家に閉じこもりがちな高齢者に対して、定期的な訪問活動や地域住民との交流活動（ふれあいサロン）を通して、社会的孤立の解消、自立生活の助長及び要介護状態になることを予防する。 （1）定期的な訪問、声かけ運動 生活・福祉課題を早期に発見し、必要とする支援につなげる。 （2）ふれあいサロン 交流会・懇談会等、各社協支会（または各サロン）において月1～2回程度開催。 ○小地域支援ネットワーク推進委員会代表者会の開催（事業のあり方等の検討）									
対象者	○概ね65歳以上の高齢者 ○実施者：小地域支援ネットワーク推進会（社協支会、民生委員・児童委員、婦人会、健康づくり推進会、ボランティア等）									
成果等	○見守り活動による安心して暮らせるまちづくりの推進（生活・福祉課題を早期に発見し、公的サービスや住民同士の助け合い活動による支援へつなげた） ○住民同士が出会い、知り合うことで、多様な人間関係が生まれ、精神的・身体的に活性化（認知症予防・介護予防） ○令和6年度ふれあいサロン実績 <table><tr><td>実施回数</td><td>1,504回</td><td>（前年度比 416回増）</td></tr><tr><td>延べ参加者数</td><td>19,488人</td><td>（前年度比 4,290人増）</td></tr><tr><td>開催箇所数</td><td>58か所</td><td>今年度新規12箇所の支援増</td></tr></table> ・今年度から、新規に立ち上げるふれあいサロンに対して、別途、配分金の一部を助成すること	実施回数	1,504回	（前年度比 416回増）	延べ参加者数	19,488人	（前年度比 4,290人増）	開催箇所数	58か所	今年度新規12箇所の支援増
実施回数	1,504回	（前年度比 416回増）								
延べ参加者数	19,488人	（前年度比 4,290人増）								
開催箇所数	58か所	今年度新規12箇所の支援増								

	にした。今まで本事業に参加できなかったサロンも要件を満たしていれば、新規の申請機会が増え、ふれあいサロンの拡充により一定の介護予防効果につながった。
備 考	桜江地区については、市がさくらえいきいきワーカーの協力を得て直接実施しているため、上記実績は旧江津市地域でのもの。

事業名	⑤障がい者サロン（愛称：ひだまりサロン）の開催
事業内容	○江津市（高齢者障がい者福祉課）、江津市基幹相談支援センター島根整肢学園、江津市障がい者協会などと連携、協働して、障がいのある方々の交流の場（居場所）になるサロンを開催する。
対象者	市内の障がいのある方々をはじめとする一般市民
成果等	○地域とのつながりが弱い傾向にある障がいのある方々が、悩みごとや心配ごとを抱え込み、ひきこもりや生活困窮に陥らないように、障害者週間の期間中に「地域でつながる居場所・サロン」を開催して、障がいのある方を基軸に高齢者や子育て世代など一般市民との交流の場（居場所）を、以下のとおり実施した。 ＊江津市障がい者協会から、赤い羽根共同募金助成金の一部協力による事業） ・日時、会場 令和6年12月8日（日）10：00～12：00、パレットごうつ市民交流広場 ・内 容 障がいのある方々と一般市民が障がいを知りつながるため「食」をテーマに、障がい福祉サービス事業所による軽食提供やニュースポーツ体験、また、困りごと相談ができる交流イベント ・おしるこ 200 食限定【江津市社会福祉協議会】 ・コーヒー100 杯限定【ワークくわの木江津事業所】 ・シフォンケーキ 100 食限定【さくらんぼのお家】 ニュースポーツ体験コーナー（スカットボール、輪投げなど） 盲導犬と共に暮らす当事者の、日常生活における社会的障壁に関する講話 ・主催：江津市障がい者協会、江津市社会福祉協議会 ・共催：江津市、江津市基幹相談支援センター島根整肢学園 ○地域の障がいのある方々が、高齢者、子育て世代などあらゆる人々と出会い、交流やつながる機会ができた。また、サロンを通じて、日頃の不安や悩みなどを相談できる場もあり、ひきこもりや生活困窮に陥らない取り組みの一端とすることができた。 ○一般市民の参加者が、障がいのある方々との交流から当事者（障がい）について知り、理解を深めていただく機会になった。
備 考	障がいのある方のサロンと称して、内容がお祭りイベントの要素が強く、本来のサロンと異なっているのではないかと指摘を受け、内容等の見直しを行い再検討する必要がある。

事業名	⑥福祉委員制度の理解を定着促進させるための見直し
事業内容	地域の情報を共有するために、従来の福祉委員制度を見直し、住民と民生委員・児童委員のつなぎ役となるような体制づくりについて検討を行う。 福祉委員のあり方検討会（平成26年度開催）の結果を踏まえ、地域の見守り活動を通じて、ひきこもりや生活困窮状態にある人などを、必要に応じて民生委員・児童委員や社会福祉協議会等へのつなぎ役を担うなど、福祉委員の役割や位置付けを明確にする。
対象者	福祉委員（社会福祉協議会各支会長、各自治会長等）

成果等	○江津市連合自治会長協議会との同意内容（平成 18 年 7 月 18 日付）に基づき、連合自治会長等に対して、社協が実施する地域福祉の推進について支援していただくようお願いした。 ○各地域の支会長と自治会長を「福祉委員」として委嘱状を交付した。また、委嘱状の交付に伴い、福祉委員の役割や活動概要について書面による明示（説明）を行った。
備 考	福祉委員の委嘱状の交付と併せて、福祉委員の役割などの書面による明示（説明）を、継続して行っているが、地域差はあるものの特に自治会長においては、毎年交代するところもあり、また、自治会長の負担過大から福祉委員が敬遠されその理解がなかなか進まない。 先進モデルとなる地域を指定し、「本資料 2 頁～3 頁 I-(1)-② 江津市地域福祉学習推進モデル事業」に取り組んでいただける社協地区支会を公募について検討する必要がある。

事業名	⑦江津市社会福祉法人連絡会の活動推進
事業内容	社会福祉法人には、高い公共性や公益性が求められるなか、社協が中心となって市内の社会福祉法人・福祉施設と連携・協働して、地域福祉の輪を広げ、制度の狭間にある地域の課題に積極的に対応していくこととしている。
対象者	本会を含む市内 11 社会福祉法人
成果等	○災害ボランティアに関連する講演会の開催 本協議会と共催でボランティア研修会を開催した。 ・日 時 令和 7 年 3 月 23 日（日）10:00～11:40 ・会 場 パレットごうつ 2 階 ホール ・講 演 「令和時代に伝えたい住民参加型のまちづくりの意義や皆が納得できる活動」 講師：合同会社フォーティ R&C 代 表 水 津 陽 子 氏 参加者 ボランティア団体、社協支会、民事協、社会福祉法人連絡会の関係者等約 60 人 （その内社会福祉法人連絡会から 5 人） ○福祉に関連する講演会の開催 本協議会の講演会が、計画されなかったため開催していない。 ○福祉ふれあいチャリティーバザーへの協力 福祉ふれあいチャリティーバザーの運営スタッフとして協力することを計画していたが、規模を縮小して実施したため、運営スタッフとしての協力要請に至らなかった。
備 考	

事業名	⑧市内各地区敬老の日のつどい事業（共同募金助成事業）
事業内容	江津市内の敬老活動を支援する事業（敬老会等の開催の支援）で、一地区（支会）あたり 10,000 円を支援する。
対象者	江津市内の高齢者
成果等	市内 23 地区の敬老行事関係経費等の一部に充当された。
備 考	

II 地域福祉を展開する地域づくり

(2) 安心・安全を支える地域のネットワークづくり

事業名	①災害ボランティアセンターの体制整備
事業内容	災害時において、被災者が一日も早く元の生活に戻るよう、関係諸機関との連携のもと、ボランティアの募集・調整・派遣など必要な支援を行う。 また、平常時においては、災害時に効果的・効率的に災害ボランティア活動が行えるよう体制整備を行う。
対象者	被災者、ボランティア、関係諸機関

成果等	○能登半島地震被災者支援のため、6月に石川県の能登町災害ボランティアセンターへ職員1名を派遣した。 ○島根県社協と県内19市町社協による緊密な連携・協働するため、災害ボランティアセンターの※ICT化に関する導入計画の説明や研修を受けて、災害時における被災者への支援活動を効果的・効率的に行うことを優先するために、年度当初の計画を変更して実施した。 ○Kintoneに関する研修・説明会等 ・9月17日 災害ボランティアセンター運営マネジメント研修(前期) ・11月6日 災害ボランティアセンター運営マネジメント研修(後期) ・3月4日 災害ボランティアセンターICT(Kintone)導入説明会(オンライン導入説明会) ○災害用資機材を常備しており、在庫状況については県社協と共有している。
備考	※「Kintone」導入計画は次年度も継続。

事業名	②災害ボランティアの養成
事業内容	災害時のボランティア活動に必要な知識や技術について、講習や訓練を行い、災害ボランティアを養成する。
対象者	市民
成果等	○江津市総合社会福祉大会にて、「災害支援活動について」をテーマに出雲市総合ボランティアセンターから2名の講師を招いて講演を行った。
備考	

事業名	③災害ボランティアコーディネーターの育成・養成
事業内容	災害時にボランティアの受け入れや活動先の調整などが円滑に行われるよう、災害ボランティアコーディネーター養成研修会等への参加により市民・職員資質の向上を図る。
対象者	市民・本協議会職員
成果等	○能登半島地震被災者支援のため、6月に石川県の能登町災害ボランティアセンターへ職員1名を派遣した。 ○以下の研修に参加し、職員資質の向上を図った。 ・災害ボランティアセンター運営者養成講座 【会長、事務局長、職員1名】 ・災害ボランティアセンター運営マネジメント研修 【事務局長、課長1名】 ・災害ボランティア活動におけるICT導入説明会 【事務局長、課長1名、職員1名】
備考	

事業名	④地域介護予防活動支援事業【再掲Ⅱ-(1)-④参照】
-----	----------------------------

事業名	⑤防犯・見守り活動
事業内容	○防犯の取り組み ・「島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり条例」の趣旨にのっとり、江津市民生児童委員協議会、江津警察署および本協議会が連携して、特殊詐欺や悪質商法の被害防止活動などの安全安心なまちづくりに関する活動を推進する。 ○見守り活動の取り組み ・家に閉じこもりがちな高齢者に対して、定期的な訪問活動や地域住民との交流活動（ふれあいサロン）を実施し、社会的孤立の解消や、福祉ニーズの早期発見を図る。 ・認知症等により徘徊のおそれのある高齢者等が行方不明になった場合に、早期に発見、保護できるよう努める。
対象者	市民

成果等	○防犯の取り組み ・支会などが開催しているふれあいサロン等の中で、警察署員を講師として「特殊詐欺被害防止」についての講話を聴く機会を設け、防犯活動につなげた。 ・歳末声掛けボランティア訪問事業の際に、江津市防犯自治会・江津地区安全運転管理者協会・江津警察署が作成した特殊詐欺被害防止のPRカード（裏面は交通事故防止のPR）を配布した。 ○見守り活動の取り組み ・地域介護予防活動支援事業において、定期的な訪問活動とふれあいサロンを実施（詳細はⅡ-(1)-④） ・徘徊高齢者等 SOS ネットワーク「ほっと江津！」に連携事業所として参画
備 考	平成 27 年 10 月 13 日に江津市民生児童委員協議会、江津警察署および本協議会の 3 者で「犯罪のない安全・安心なまちづくりの推進に関する協定」締結

Ⅲ 地域福祉を支える包括的支援体制づくり

(1) 重層的支援体制整備事業の推進

事業名	①地域介護予防活動支援事業【再掲Ⅱ-(1)-④参照】
-----	----------------------------

事業名	②生活支援まごころフレッシュサービス事業																								
事業内容	○有償ボランティア派遣事業（生活支援まごころフレッシュサービス協力会員、利用会員、賛助会員募集） ○住民同士の助けあいを基本として、日常生活支援、援助を必要とする人、子育て家族の就労支援体制を含めた負担を軽減するための会員方式の在宅福祉サービス。																								
対象者	○協力会員（江津市内在住でサービスの実務を担当する 20 歳以上の方） ○利用会員（江津市内に在住または居留し、日常生活に色々なサービスを必要とする方） ○賛助会員（労力の提供は出来ないが、財源の協力のみ出来る方）																								
成果等	○令和 6 年度実績 <table><tr><td rowspan="3">会員数</td><td>協力会員</td><td>16 名</td><td>（前年度比 3 名増）</td></tr><tr><td>利用会員</td><td>38 名</td><td>（前年度比 10 名減）</td></tr><tr><td>賛助会員</td><td>1 名</td><td>（今年度 1 名増）</td></tr><tr><td colspan="2">延べ利用件数</td><td>257 件</td><td>（前年度比 62 件減）</td></tr><tr><td colspan="2">協力会員延べ活動日数</td><td>825 日</td><td>（前年度比 379 日減）</td></tr><tr><td colspan="2">協力会員延べ活動時間</td><td>1, 101 時間</td><td>（前年度比 1, 279 時間減）</td></tr></table> ※利用会員の会員数は、登録者のうち当年度に事業を利用した人の数			会員数	協力会員	16 名	（前年度比 3 名増）	利用会員	38 名	（前年度比 10 名減）	賛助会員	1 名	（今年度 1 名増）	延べ利用件数		257 件	（前年度比 62 件減）	協力会員延べ活動日数		825 日	（前年度比 379 日減）	協力会員延べ活動時間		1, 101 時間	（前年度比 1, 279 時間減）
会員数	協力会員	16 名	（前年度比 3 名増）																						
	利用会員	38 名	（前年度比 10 名減）																						
	賛助会員	1 名	（今年度 1 名増）																						
延べ利用件数		257 件	（前年度比 62 件減）																						
協力会員延べ活動日数		825 日	（前年度比 379 日減）																						
協力会員延べ活動時間		1, 101 時間	（前年度比 1, 279 時間減）																						
備考	・減少の大きな理由は弁当配達案件で、協力会員離脱のため支援中止になったため。																								

事業名	③和光園ふれあい講座の開催（共同募金助成事業）			
事業内容	○市内の高齢者を対象として、高齢者相互のふれあいと健康、社会知識、教養を高めるために、講座を開催する。 ○和光園ふれあい講座運営審議委員会の開催（開催回数を含む今後の内容等について審議）			
対象者	高齢者（老人クラブ会員）、一般住民等			
成果等	○開催状況			
	講座	開催日	内 容	受講者
	第 1 回	10/3	『楽しく笑って認知症予防』	34 名
	第 2 回	2/28	『いくつになっても元気ハツラツ健康と幸せを運ぶ笑いヨガ』	46 名
	・受講者数 80 名（前年度比 13 名減）			
	○2 回/年開催。			
備 考				

事業名	④歳末声かけボランティア事業（共同募金助成事業）		
事業内容	江津市ボランティアセンター登録のボランティア等が、年末に市内 80 歳以上のひとり暮らし高齢者、夫婦共 80 歳以上の高齢者に見舞品（フリーズドライ味噌汁セット）を持って声かけ訪問をする。		
対象者	80 歳以上のひとり暮らし高齢者世帯並びに夫婦共 80 歳以上の高齢者のみの世帯		
成果等	○江津市ボランティアセンター登録会員のボランティア活動推進と対象者宅訪問により、健康確認（安否確認）に貢献した。		
	○令和 6 年度実績		
	(1)実施日 令和 6 年 12 月 20 日（金）		
	(2)活動者 ボランティア・民生委員・児童委員・社協支会長等 200 余名		
	(3)対象者		
	80 歳以上の一人暮らし高齢者世帯	795 世帯	（前年度比 6 世帯減）
	夫婦共 80 歳以上の高齢者のみの世帯	300 世帯	（前年度比 14 世帯増）
	合 計	1,095 世帯	（前年度比 8 世帯増）
	フリーズドライの味噌汁 8 個入り 1 箱持参。		
備考	・メッセージカードの作成について、江津市内児童生徒に加え幼児も今年度から参加頂いた。これにより、メッセージカードをコピーする枚数を激減させる、自筆カードが多くの方に届いた。		

事業名	⑤骨髄バンク基金事業
事業内容	○白血病等による骨髄移植の治療を受ける人に対して経費の軽減及び精神的援助を図るため見舞金支給を行う。（見舞金の額は一人 1 回限り 100,000 円） ○寄付者からの目的を指定した寄付金を財源とする。
対象者	江津市に住所を有し、住民基本台帳法に基づき住民基本台帳に記録されている人のうち、次のいずれかに該当する人。 (1) 骨髄移植を受けた人（ただし、骨髄移植後 1 年以内の申請に限る。また、この期間中に死亡した場合も対象とする。） (2) 1 ヶ月以内に骨髄移植を受ける予定の人（ただし、申請後、骨髄移植予定日までに死亡した場合も対象とする。）
成果等	令和 6 年度実績：見舞金支給 0 件（前年度比増減なし）
備考	残り基金枠 1,130,000 円（R7.3.31 現在）

事業名	⑥福祉バス運行事業（社会福祉活動基金事業）
事業内容	福祉関係団体の諸事業（例 社協支会が行うサロン事業 市内老人クラブの研修旅行、市内保育所の遠足行事等）を推進するためにマイクロバスを運行する。このことにより、地域福祉事業の幅を広げ、変化に富んだ事業の推進に寄与する。
対象者	福祉関係団体（福祉バス運行事業実施要項に基づく 17 団体）、江津市役所、その他会長の承認を得た団体
成果等	○令和 6 年度実績 ・利用件数 101 件（前年度比 13 件増） ・利用者数 延べ 1,652 名（前年度比 76 名増） ○児童、高齢者、障がいのある人等に利用され、地域福祉活動に役立てられた。
備考	・燃料代は利用者が負担する。 ・土日祝の運行は月 2 回以内で利用可能である。

事業名	⑦生活福祉資金貸付事業											
事業内容	収入が少ない世帯、あるいは障がい者や高齢者のいる世帯に対し、民生委員・児童委員や社会福祉協議会が協力してその相談に応じ、経済的な安定や社会参加、在宅福祉を推進する目的で運営している貸付制度。 (1)実施主体 島根県社協 (2)限度額 35,000 円～5,800,000 円（資金の種類により異なる） (3)償還期間 12 ヶ月～20 年以内（資金の種類により異なる） (4)償還関係業務 長期滞納の場合、その理由等の確認（場合によっては島根県社協による現地督励会の開催も調整）											
対象者	○低所得世帯…資金の貸付により独立自活できると認められる世帯であって、資金の融通を他から受けることが困難であると認められる世帯 ○障がい者世帯…身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方の属する世帯 ○高齢者世帯…日常生活上療養又は介護を要する高齢者（65 歳以上）の属する世帯											
成果等	○令和 6 年度実績 <table><tr><td>新規貸付件数</td><td>3 件</td><td>前年度比 1 件増 内訳 福祉資金 1 件 緊急小口資金 2 件</td></tr><tr><td>新規貸付分の貸付元金</td><td>200,000 円</td><td>(前年度比 98,000 円減)</td></tr><tr><td>貸付件数 (R7.3.31 現在)</td><td>106 件</td><td>(前年度比 6 件減) 内訳 本則貸付分 66 件 特例貸付分 40 件</td></tr></table>			新規貸付件数	3 件	前年度比 1 件増 内訳 福祉資金 1 件 緊急小口資金 2 件	新規貸付分の貸付元金	200,000 円	(前年度比 98,000 円減)	貸付件数 (R7.3.31 現在)	106 件	(前年度比 6 件減) 内訳 本則貸付分 66 件 特例貸付分 40 件
新規貸付件数	3 件	前年度比 1 件増 内訳 福祉資金 1 件 緊急小口資金 2 件										
新規貸付分の貸付元金	200,000 円	(前年度比 98,000 円減)										
貸付件数 (R7.3.31 現在)	106 件	(前年度比 6 件減) 内訳 本則貸付分 66 件 特例貸付分 40 件										
備考	特例貸付は、令和 2 年 3 月 25 日より申込受付開始、令和 4 年 9 月 30 日申込受付終了。											

事業名	⑧民生基金貸付事業														
事業内容	○江津市内に居住する低所得者に対し、生活に緊急的に必要な一定の資金を一時的に貸し付け、自立生活を支援する。 ○資金の種類 生活を営むのに必要な経費、生業を営むのに必要な経費、医療のために必要な経費、教科書代・修学旅行に必要な経費、家屋補修に必要な経費、高額な医療費支払のために必要な経費、急迫状態にある生活困窮者等に対し、緊急かつ一時的に必要な経費 (1) 償還期間 12 ヶ月以内（高額療養費、緊急小口資金は概ね 3 ヶ月以内） (2) 利子は無利子 (3) 償還関係業務：償還金の受入、滞納者への督促(場合によっては償還指導会の開催) (4) 限度額 10,000～300,000 円														
対象者	江津市内に居住する低所得者（連帯保証人 1 名必要、緊急小口資金は不要）														
成果等	○令和 6 年度実績 <table><tr><td>新規貸付件数</td><td>2 件</td><td>前年度比 3 件減</td></tr><tr><td>新規貸付金額</td><td>20,000 円</td><td>前年度比 13,000 円減</td></tr><tr><td>貸付中の件数（R7. 3. 31 現在）</td><td>15 件</td><td>前年度比 5 件減</td></tr><tr><td>償還残額（R7. 3. 31 現在）</td><td>1,080,540 円</td><td>前年度比 67,000 円減</td></tr></table>			新規貸付件数	2 件	前年度比 3 件減	新規貸付金額	20,000 円	前年度比 13,000 円減	貸付中の件数（R7. 3. 31 現在）	15 件	前年度比 5 件減	償還残額（R7. 3. 31 現在）	1,080,540 円	前年度比 67,000 円減
新規貸付件数	2 件	前年度比 3 件減													
新規貸付金額	20,000 円	前年度比 13,000 円減													
貸付中の件数（R7. 3. 31 現在）	15 件	前年度比 5 件減													
償還残額（R7. 3. 31 現在）	1,080,540 円	前年度比 67,000 円減													
備考															

事業名	⑨ふれあい福祉センター総合相談事業		
事業内容	○市民の様々な心配ごと相談に応じ、問題の所在を明らかにした適切な解決を図り、安心した生活と福祉の向上に寄与する。 (1)法律相談（弁護士）・・・毎月 1 回 法律に関することについて（相談時間：30 分以内）		

	(2) 一般相談（司法書士・民生委員・児童委員）・・・江津会場 1 回/月、桜江会場 1 回/2 カ月 日常生活上のいろいろな心配ごと・悩みごとについて（相談時間：45 分以内） (3) 福祉相談（センター担当職員）・・・平日 福祉サービス・専門相談機関の紹介や、いろいろな心配ごと・悩みごとについて ○ふれあい福祉センター運営委員会の開催（相談事業のあり方について検討）																														
対象者	市民（市外からも受け入れる場合がある）																														
成果等	○令和 6 年度実績																														
	<table><tr><td rowspan="2">法 律 相 談 (12 回中 12 回開催)</td><td>取 扱 件 数</td><td>49 件</td><td>(前年度比 14 件減)</td></tr><tr><td>相 談 利 用 者 数</td><td>54 名</td><td>(前年度比 12 名減)</td></tr><tr><td rowspan="2">一 般 相 談 (18 回中 15 回開催)</td><td>取 扱 件 数</td><td>30 件</td><td>(前年度比 14 件減)</td></tr><tr><td>相 談 利 用 者 数</td><td>37 名</td><td>(前年度比 2 名増)</td></tr><tr><td rowspan="2">福 祉 相 談 (平 日)</td><td>取 扱 件 数</td><td>82 件</td><td>(前年度比 65 件減)</td></tr><tr><td>相 談 利 用 者 数</td><td>91 名</td><td>(前年度比 71 名減)</td></tr><tr><td rowspan="2">合 計</td><td>取 扱 件 数</td><td>161 件</td><td>(前年度比 83 件減)</td></tr><tr><td>相 談 利 用 者 数</td><td>182 名</td><td>(前年度比 81 名減)</td></tr></table>	法 律 相 談 (12 回中 12 回開催)	取 扱 件 数	49 件	(前年度比 14 件減)	相 談 利 用 者 数	54 名	(前年度比 12 名減)	一 般 相 談 (18 回中 15 回開催)	取 扱 件 数	30 件	(前年度比 14 件減)	相 談 利 用 者 数	37 名	(前年度比 2 名増)	福 祉 相 談 (平 日)	取 扱 件 数	82 件	(前年度比 65 件減)	相 談 利 用 者 数	91 名	(前年度比 71 名減)	合 計	取 扱 件 数	161 件	(前年度比 83 件減)	相 談 利 用 者 数	182 名	(前年度比 81 名減)		
法 律 相 談 (12 回中 12 回開催)	取 扱 件 数		49 件	(前年度比 14 件減)																											
	相 談 利 用 者 数	54 名	(前年度比 12 名減)																												
一 般 相 談 (18 回中 15 回開催)	取 扱 件 数	30 件	(前年度比 14 件減)																												
	相 談 利 用 者 数	37 名	(前年度比 2 名増)																												
福 祉 相 談 (平 日)	取 扱 件 数	82 件	(前年度比 65 件減)																												
	相 談 利 用 者 数	91 名	(前年度比 71 名減)																												
合 計	取 扱 件 数	161 件	(前年度比 83 件減)																												
	相 談 利 用 者 数	182 名	(前年度比 81 名減)																												
	※一般相談は、予約なしのため 3 回中止（江津会場 1 回、桜江会場 2 回）となった。																														
備 考																															

事業名	⑩福祉委員制度の理解を定着促進させるための見直し【再掲Ⅱ-(1)-⑥参照】
-----	---------------------------------------

事業名	⑪高齢者等生活支援体制整備事業【再掲Ⅰ-(2)-④参照】
-----	------------------------------

事業名	⑫生活困窮者自立相談支援事業
事業内容	令和 5 年度から本事業は本協議会とワーカーズコープの共同事業体「江津市自立できる地域づくり共同事業体」が設置している「生活支援相談センターごうつ」が、江津市からの受任事業として住居確保給付金・一時生活支援事業・家計改善支援事業・就労準備支援事業・認定就労訓練事業・自立相談支援事業による就労支援に取り組んでいる。毎月開催される支援調整会議において、プラン兼事業等の利用について協議し、相談者の自立を支援している。

Ⅲ 地域福祉を支える包括的支援体制づくり

(2) 情報提供体制の充実

事業名	①広報紙の発行およびホームページの更新
事業内容	広報紙の発行およびホームページにより、本協議会の業務及びサービスや福祉に関する情報を市民にわかり易く提供する。また、視覚に障がいのある方に対しては、広報紙を点訳・音訳して提供する。
対象者	市民、その他関連福祉団体等
成果等	○広報紙「ごうつ社協」発行 年 5 回（前年度比 増減なし） ○ホームページの更新 年 47 回（前年度比 5 回増）
備 考	・点訳と音訳作業は、島根県西部視聴覚障害者情報センター（いわみーる内）を通じて、「点訳ボランティア窓の会」「声のボランティアひびきの会」に無償で協力を得ている。 ・関連団体の日本赤十字社、共同募金、老人クラブ連合会の情報も掲載している。

事業名	②広報紙の点訳および音訳による情報提供【記載箇所 5 頁/Ⅰ-(2)-② 意思疎通・移動支援ボランティアの養成】
-----	--

Ⅲ 地域福祉を支える包括的支援体制づくり

(3) 生活困窮者自立支援事業の推進

事業名	①生活困窮者自立相談支援事業【再掲Ⅲ-(1)-⑫参照】
-----	-----------------------------

事業名	②緊急一時食糧支援事業（フードバンク事業）														
事業内容	市民や関係機関・団体などから提供された食料をフードバンクとして備蓄し、これを生活が窮乏状態となった者に対し一時的に食料を提供することで、当該生活困窮者の自立と生活再建を図る。（備蓄した食料の中から一人当たり最大3食分の食料を、3日分以内で提供する。特別事情があるときは食料提供期間の延長が可能） また、当事業への指定寄付も受け付け可能。														
対象者	次の全てに該当する者 ①現に江津市内に居住している者 ②生活支援相談センターごうつの支援対象者 ③生活困窮により食料の確保が困難で生命の安全が脅かされている状態にある者														
成果等	○緊急一時食糧支援の実績 ・利用件数 18件【前年度比 42件減】 ※利用件数は減っているが、希望者には対応している。 ○食料等の寄付状況 <table><tr><td>時 期</td><td>寄贈件数</td><td>寄贈点数</td></tr><tr><td>4月～1月</td><td>19 件（ 3件増）</td><td>502 点（ 161 点減）</td></tr><tr><td>2月～3月</td><td>12 件（ 2件増）</td><td>725 点（ 27 点増）</td></tr><tr><td>合 計</td><td>26 件（ 増減なし）</td><td>1,227 点（ 134 点減）</td></tr></table> ※2月の本協議会広報紙で食料の提供を呼びかけて集めたほか、年間を通じて継続的に食品を寄贈していただいた団体もあり、多くの食品が集まった。			時 期	寄贈件数	寄贈点数	4月～1月	19 件（ 3件増）	502 点（ 161 点減）	2月～3月	12 件（ 2件増）	725 点（ 27 点増）	合 計	26 件（ 増減なし）	1,227 点（ 134 点減）
時 期	寄贈件数	寄贈点数													
4月～1月	19 件（ 3件増）	502 点（ 161 点減）													
2月～3月	12 件（ 2件増）	725 点（ 27 点増）													
合 計	26 件（ 増減なし）	1,227 点（ 134 点減）													
備 考															

事業名	③生活困窮者日用品等提供事業
事業内容	日常生活を送るのが困難な人に対し、①衣料品、②寝具、③日用品などを提供し、自立生活を支援する。
対象者	市民等
成果等	・利用件数 0件（前年度比 1件減） 内訳（重複の場合あり） ①衣料品・・・0件（前年度比 増減なし） ②寝具・・・0件（前年度比 増減なし） ③日用品・・・0件（前年度比 1件減）
備考	提供する品物は、チャリティーバザーの残品や、施設入所等により空き家状態となるような家庭からの提供品

事業名	④入居債務保証支援事業
事業内容	賃貸住宅に入居する際の入居保証人が確保できない者について、本協議会が、家主又は不動産業者と入居に関する債務保証契約を締結することにより住居の確保を支援し、地域生活への移行や生活再建の基盤を支える。本事業の利用希望があった場合、その旨を浜田宅建センター江津支部へ、賃貸住宅の情報提供依頼を行う。提供された情報をもとに、入居希望の賃貸住宅があった場合、その所有者（賃貸人）、利用者、本協議会の間で利用契約を締結。 ・利用期間（契約期間） 2年間とし更新が可能 ・利用料 15,000円（一括または分割して本協議会へ納付）

	※本協議会に納付された利用料全額は、入居債務保証金として島根県社協へ組み入れる ・保証の対象は次のとおり (1) 滞納家賃（月額家賃の最大3ヶ月分） (2) 退去に伴う原状回復にかかる費用（月額家賃の2ヶ月分） ※上記（1）の月額家賃は、生活保護制度における江津市の住宅扶助費を上限額とする（条件を満たせば特別基準額が適用となる場合もある） ・保証が必要になった場合は、本協議会から島根県社協に対し保証額の請求を行う
対 象 者	次の全てに該当する者 ①本事業を利用して自立した日常生活を送ることが期待でき、市内の賃貸住宅に入居を希望する者 ②家賃等について継続的に支払いができるにも関わらず、入居保証人の確保ができないため賃貸住宅への入居が困難な者 ③世帯の収入が住民税非課税相当以下の者
成 果 等	○令和6年度実績 0件（前年度比 増減なし）
備 考	

Ⅲ 地域福祉を支える包括的支援体制づくり

(4) 地域福祉に関する基盤整備

事業名	①福祉バス運行事業（社会福祉活動基金事業）【再掲Ⅲ-(1)-⑥参照】
-----	------------------------------------

事業名	②社協地区支会との連携強化と活動の活性化【再掲Ⅱ-(1)-③参照】
-----	-----------------------------------

事業名	③民間助成事業の利用支援【再掲Ⅰ-(2)-③参照】
-----	---------------------------

事業名	④社会福祉活動基金事業（福祉団体助成）																				
事業内容	地域福祉団体の活動が円満に進み、地域福祉の充実が図られるよう、香典返しを原資とした基金から毎年関係団体に助成している。なお、この交付団体の選定にあたっては、「社会福祉活動基金委員会」の審議を経て決定している。																				
対象者	市内の福祉関係団体																				
成果等	○令和6年度助成実績【6団体、総額 3,424,000 円】（前年度比 334,000 円増） <table><tr><td>①</td><td>江津市社会福祉協議会</td><td>2,734,000 円</td></tr><tr><td>②</td><td>江津市民生児童委員協議会</td><td>300,000 円</td></tr><tr><td>③</td><td>江津市老人クラブ連合会</td><td>100,000 円</td></tr><tr><td>④</td><td>江津市連合婦人会</td><td>90,000 円</td></tr><tr><td>⑤</td><td>浜田地区保護司会江津分区</td><td>100,000 円</td></tr><tr><td>⑥</td><td>江津市更生保護女性会</td><td>100,000 円</td></tr></table>			①	江津市社会福祉協議会	2,734,000 円	②	江津市民生児童委員協議会	300,000 円	③	江津市老人クラブ連合会	100,000 円	④	江津市連合婦人会	90,000 円	⑤	浜田地区保護司会江津分区	100,000 円	⑥	江津市更生保護女性会	100,000 円
①	江津市社会福祉協議会	2,734,000 円																			
②	江津市民生児童委員協議会	300,000 円																			
③	江津市老人クラブ連合会	100,000 円																			
④	江津市連合婦人会	90,000 円																			
⑤	浜田地区保護司会江津分区	100,000 円																			
⑥	江津市更生保護女性会	100,000 円																			
備考	・本協議会の助成金は福祉バスの運営費に充てられた。																				

事業名	⑤本協議会の体制づくり（組織運営体制の見直し・再編）「法人運營業」
事 業 内 容	社会福祉協議会は、地域の福祉課題の解決に取り組み、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを目指し、絶えず、その方法について協議し、それを踏まえて活動するため、地域の各種団体や公私の社会福祉事業関係者等をもって組織されている。このため、これらの福祉関係者の活動を支援するための会議等の旅費、交通費、また職員自ら地域福祉に従事するための人件費、事務所の諸経費等がこれの主なもので、法人の管理に必要とする事業の経費である。
対象者	市民、江津市民生児童委員協議会、江津市老人クラブ連合会、日赤島根県支部江津市地区、島根県

	共同募金会江津市共同募金委員会、その他関連福祉団体
成果等	○主な収入財源の内訳 会費収入 7,728,870 円（前年度 7,900,150 円 前年度比 2.17%減） 会員世帯数 7,729 世帯 社協広報紙配布世帯に対する会員割合 7,729 世帯／8,800 世帯＝87.82% 江津市補助金 44,855,000 円（人件費 9 名分、会議室使用料等） 寄付金 4,004,000 円（香典返し寄付金等） ○主な事業 (1) 各種会議（正副会長会 3 回、理事会 3 回、評議員会 2 回、監査会 1 回） (2) 委員会等 12 回 (3) 社協広報紙発行費（5 回）、福祉バス運行費の一部、事務局維持費 (4) 江津市社会福祉協議会業務（決算額 60,797,267 円） (5) 事務局受託団体の事業を支援 ①江津市民生児童委員協議会支援業務 ②江津市老人クラブ連合会支援業務 ③江津市共同募金委員会業務全般 ④日赤島根県支部江津市地区業務全般 (6) その他関連福祉団体等の円滑な福祉活動の支援
備考	

事業名	⑤本協議会の体制づくり（組織運営体制の見直し・再編）「研修会等への参加」																																															
事業内容	各種研修会等へ積極的に参加し、役職員の資質向上を図る。																																															
対象者	社協役職員																																															
成果等	<table><tr><th>月日</th><th>内 容</th></tr><tr><td>5.20</td><td>生活支援コーディネーター養成研修【桑原 SC、岩崎 SC】</td></tr><tr><td>6.15</td><td>災害ボランティアセンター運営者養成講座【藤田会長、林事務局長、田中主事補】</td></tr><tr><td>6.28</td><td>男女共同参画講演会【藤田会長、浅田課長、岡田主事補、田中主事補、武田職員、桑原 SC】</td></tr><tr><td>7.2</td><td>生活福祉資金 kintone 勉強会【川上主任、岩崎課長】</td></tr><tr><td>7.4</td><td>指導監査説明会・研修会【牛尾監事・石津監事、藤田会長、林事務局長、岩崎課長】</td></tr><tr><td>7.4</td><td>生活支援コーディネーター養成研修【桑原 SC、岩崎 SC】</td></tr><tr><td>7.5～6</td><td>コミュニティソーシャルワーク実践基礎研修【桑原 SC、岩崎 SC】</td></tr><tr><td>7.19</td><td>安全運転管理者講習【林事務局長】</td></tr><tr><td>7.19</td><td>日常生活自立支援事業第 1 回専門員研修会【澤田専門員、川上専門員、岩崎担課長、都甲職員】</td></tr><tr><td>7.19</td><td>地域の権利擁護支援のあり方を考える研修会【澤田権利擁護係長、川上主任】</td></tr><tr><td>7.29</td><td>記録の職員研修【林事務局長、岩崎課長、澤田権利擁護係長、川上主任、青笹主事、田中主事補、都甲職員】</td></tr><tr><td>7.30</td><td>SC カフェ 17【桑原 SC、岩崎 SC】</td></tr><tr><td>8.1</td><td>日常生活自立支援事業責任者研修会【林事務局長、岩崎課長】</td></tr><tr><td>8.2</td><td>島根県市町村社協会長会役員会・総会・研修会【藤田会長】</td></tr><tr><td>8.2</td><td>江津市人権・同和教育講演会【林事務局長、役員 5 名】</td></tr><tr><td>8.9</td><td>生活支援コーディネーター養成オンライン研修【桑原 SC、岩崎 SC】</td></tr><tr><td>8.22～23</td><td>福祉職員キャリアパス対応生涯研修（初任者コース）【田中主事補】</td></tr><tr><td>9.9</td><td>生活支援コーディネーター養成研修【桑原 SC、岩崎 SC】</td></tr><tr><td>9.11</td><td>労務管理研修【林事務局長、岩崎課長】</td></tr><tr><td>9.17</td><td>災害ボランティアセンター運営マネジメント研修【林事務局長、浅田課長】</td></tr><tr><td>10.18</td><td>SC カフェ【桑原 SC、岩崎 SC】</td></tr><tr><td>10.23</td><td>権利擁護人材フォローアップ研修【澤田係長、川上主任】</td></tr></table>		月日	内 容	5.20	生活支援コーディネーター養成研修【桑原 SC、岩崎 SC】	6.15	災害ボランティアセンター運営者養成講座【藤田会長、林事務局長、田中主事補】	6.28	男女共同参画講演会【藤田会長、浅田課長、岡田主事補、田中主事補、武田職員、桑原 SC】	7.2	生活福祉資金 kintone 勉強会【川上主任、岩崎課長】	7.4	指導監査説明会・研修会【牛尾監事・石津監事、藤田会長、林事務局長、岩崎課長】	7.4	生活支援コーディネーター養成研修【桑原 SC、岩崎 SC】	7.5～6	コミュニティソーシャルワーク実践基礎研修【桑原 SC、岩崎 SC】	7.19	安全運転管理者講習【林事務局長】	7.19	日常生活自立支援事業第 1 回専門員研修会【澤田専門員、川上専門員、岩崎担課長、都甲職員】	7.19	地域の権利擁護支援のあり方を考える研修会【澤田権利擁護係長、川上主任】	7.29	記録の職員研修【林事務局長、岩崎課長、澤田権利擁護係長、川上主任、青笹主事、田中主事補、都甲職員】	7.30	SC カフェ 17【桑原 SC、岩崎 SC】	8.1	日常生活自立支援事業責任者研修会【林事務局長、岩崎課長】	8.2	島根県市町村社協会長会役員会・総会・研修会【藤田会長】	8.2	江津市人権・同和教育講演会【林事務局長、役員 5 名】	8.9	生活支援コーディネーター養成オンライン研修【桑原 SC、岩崎 SC】	8.22～23	福祉職員キャリアパス対応生涯研修（初任者コース）【田中主事補】	9.9	生活支援コーディネーター養成研修【桑原 SC、岩崎 SC】	9.11	労務管理研修【林事務局長、岩崎課長】	9.17	災害ボランティアセンター運営マネジメント研修【林事務局長、浅田課長】	10.18	SC カフェ【桑原 SC、岩崎 SC】	10.23	権利擁護人材フォローアップ研修【澤田係長、川上主任】
月日	内 容																																															
5.20	生活支援コーディネーター養成研修【桑原 SC、岩崎 SC】																																															
6.15	災害ボランティアセンター運営者養成講座【藤田会長、林事務局長、田中主事補】																																															
6.28	男女共同参画講演会【藤田会長、浅田課長、岡田主事補、田中主事補、武田職員、桑原 SC】																																															
7.2	生活福祉資金 kintone 勉強会【川上主任、岩崎課長】																																															
7.4	指導監査説明会・研修会【牛尾監事・石津監事、藤田会長、林事務局長、岩崎課長】																																															
7.4	生活支援コーディネーター養成研修【桑原 SC、岩崎 SC】																																															
7.5～6	コミュニティソーシャルワーク実践基礎研修【桑原 SC、岩崎 SC】																																															
7.19	安全運転管理者講習【林事務局長】																																															
7.19	日常生活自立支援事業第 1 回専門員研修会【澤田専門員、川上専門員、岩崎担課長、都甲職員】																																															
7.19	地域の権利擁護支援のあり方を考える研修会【澤田権利擁護係長、川上主任】																																															
7.29	記録の職員研修【林事務局長、岩崎課長、澤田権利擁護係長、川上主任、青笹主事、田中主事補、都甲職員】																																															
7.30	SC カフェ 17【桑原 SC、岩崎 SC】																																															
8.1	日常生活自立支援事業責任者研修会【林事務局長、岩崎課長】																																															
8.2	島根県市町村社協会長会役員会・総会・研修会【藤田会長】																																															
8.2	江津市人権・同和教育講演会【林事務局長、役員 5 名】																																															
8.9	生活支援コーディネーター養成オンライン研修【桑原 SC、岩崎 SC】																																															
8.22～23	福祉職員キャリアパス対応生涯研修（初任者コース）【田中主事補】																																															
9.9	生活支援コーディネーター養成研修【桑原 SC、岩崎 SC】																																															
9.11	労務管理研修【林事務局長、岩崎課長】																																															
9.17	災害ボランティアセンター運営マネジメント研修【林事務局長、浅田課長】																																															
10.18	SC カフェ【桑原 SC、岩崎 SC】																																															
10.23	権利擁護人材フォローアップ研修【澤田係長、川上主任】																																															

	10.30	日常生活自立支援事業業務管理システム定着ミーティング【岩崎課長】
	10.30～31	社協トップミーティング【内田副会長、林常務理事】
	11.1～2	コミュニティソーシャルワーク実践基礎研修【桑原 SC、岩崎 SC】
	11.6	災害ボランティアセンター運営マネジメント研修【林事務局長】
	11.15	地域共生社会推進セミナー【浅田課長、川上主任、岡田主事補、武田職員】
	11.20	DV に関する県民公開講座【林事務局長、川上主任、青笹主事、田坂主事補、桑原 SC】
	11.20	日常生活自立支援事業業務管理システム定着ミーティング【川上専門員、岩崎課長】
	11.25	救急講習【田坂主事補】
	11.25	日常生活自立支援事業生活支援員研修【生活支援員、川上専門員】
	11.28	メンタルヘルス研修Ⅰ（一般職員コース）【青笹主事】
	12.2～3	社協職員研修【田坂主事補】
	12.5	メンタルヘルス研修Ⅱ（管理職コース）【林事務局長】
	12.6	ふるまい向上研修会【林事務局長】
	12.20	リスクマネジメント研修Ⅰ【青笹主事】
	12.21	リスクマネジメント研修Ⅱ【岩崎課長】
	12.22	社会福祉法人監事研修【石津監事、牛尾監事】
	1.8	災害ケースマネジメント実践勉強会【林事務局長、浅田課長、川上主任】
	1.14	生活支援コーディネーター向け WEB セミナー【桑原 SC、岩崎 SC】
	1.15	生活困窮者自立支援機関情報交換会・課題別勉強会【澤田権利擁護係長、川上主任】
	1.27～28	社協トップセミナー【藤田会長、鹿森副会長、林事務局長】
	2.7	中国・四国都市社協連絡協議会研修会【澤田権利擁護係長、川上主任】
	2.20	災害ケースマネジメント実践勉強会【林事務局長、浅田課長、川上主任】
	2.25	K-ねっと全国セミナー【澤田係長、川上主任】
	3.4	SC カフェ【桑原 SC】
	3.4	災害ボランティアセンター ICT (Kintone) 導入説明会・オンライン【林事務局長、浅田課長、青笹主事】
	3.5	日常生活自立支援事業専門員連絡会・研修会【澤田専門員、川上専門員】
	3.7	オールしなね社協プラント推進員広報勉強会【青笹主事、田坂主事補】
	3.7	権利擁護シンポジウム【川上主任】
	3.14	社会福祉法人の潜在力を生かした権利擁護体制づくり推進事業普及推進セミナー【林事務局長】
	3.14	南房総市エイブルメント事業モデル実践成果報告会【桑原 SC、岩崎 SC】
	3.14	地域の権利擁護支援のあり方を考える研修会【澤田権利擁護係長、川上主任】

Ⅲ 地域福祉を支える包括的支援体制づくり

(5) 権利擁護・虐待防止対策の推進

事業名	①日常生活自立支援事業
事業内容	○判断能力が不十分な方や日常生活に不安のある方の権利を擁護することを目的として、それらの方が、地域で安心して自立した生活が送れるように、日常的なお手伝いを社会福祉協議会や生活支援員が行う。 (1) 福祉サービスの利用援助 福祉サービスの利用に関する手続きや利用料を支払う手続きなど (2) 日常的金銭管理サービス 年金等の受領に必要な手続き、医療費・公共料金・日用品の代金の支払いなど (3) 書類等の預かりサービス 年金証書、預金通帳、契約書、実印、銀行印等の保管 (4) 利用料・・・1,200 円×利用時間＋交通費（※ただし、生活保護世帯は支援計画に基づいた支援は無料） 預かり料・・・月額 200 円
対象者	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等日常生活に不安があり、自己の能力で様々なサービスを適切に利用することが困難な方（療育手帳や精神障害者保健福祉手帳所持者、認知症の診断を受け

	ている者に限らない)		
成果等	○令和6年度実績		
	①前年度末の契約者数	37 件	(前年度比 2 件減)
	②新規契約者数	1 件	前年度比 1 件減
	③解約・終了者数	6 件	前年度比 2 件増
	(そのうち成年後見制度移行数)	4 件	前年度比 3 件増
	④年度末時点の契約者数	32 件	(前年度比 5 件減)
	○適切な福祉サービスの利用、公共機関等への書類提出の支援、親族等からの金銭虐待の防止、公共料金等の支払い遅延の防止、無駄遣いの抑制など、利用者の権利擁護に寄与した。		
○新規契約希望相談はあるが、身体的理由などで利用希望や契約予定者が事業利用を希望していないなど契約対象外の相談であるため、利用契約に結び付かない。			
備 考	・R7.3.31 現在の生活支援員数 25 名 (前年度比2名減 体調不良等による辞任)		

事業名	②法人後見受任事業														
事業内容	認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者等意思決定が困難な者の判断力を補うため、本協議会が成年後見人、保佐人、補助人となることにより、被成年後見人、被保佐人、被補助人の財産管理、身上監護を行い、その権利を擁護することを推進する事業である。今後、日常生活自立支援事業利用者等において、更なる判断能力等の低下により成年後見人等が必要な場合が増えることが想定されるため、地域で暮らす方々の権利を擁護していく上でのセーフティネットのひとつとして本協議会が受任している。														
対象者	江津市内に在住し、他に適切な後見人等が得られない者とするほか、次の各号のいずれかの要件を満たす者 ①日常生活自立支援事業の利用者であって、その事業では対応が困難であると判断される事項に対応する必要がある生じた場合 ②市長が法定後見（後見・保佐・補助）の開始の審判を申し立てた場合 ③その他、特別の事由により必要があると本協議会会長が認める者														
成果等	○令和6年度実績 <table><tr><td>前年度末の受任者数</td><td>13件</td><td>前年度比1件増</td></tr><tr><td>新規受任者数</td><td>1件</td><td>前年度比1件減</td></tr><tr><td>受任終了者数</td><td>0件</td><td>前年度比1件減</td></tr><tr><td>年度末時点の受任者数</td><td>14件</td><td>前年度1件増 後見9件、保佐3件、補助2件</td></tr></table> ○被後見人等の金銭管理・身上監護を行い、その人らしい生活ができるよう支援した。 ○権利擁護推進委員会を年2回（開催日①R6. 7. 10②R7. 2. 5）開催し、専門的知識を有する委員より本事業をはじめとした権利擁護の推進について助言を受けた。			前年度末の受任者数	13件	前年度比1件増	新規受任者数	1件	前年度比1件減	受任終了者数	0件	前年度比1件減	年度末時点の受任者数	14件	前年度1件増 後見9件、保佐3件、補助2件
前年度末の受任者数	13件	前年度比1件増													
新規受任者数	1件	前年度比1件減													
受任終了者数	0件	前年度比1件減													
年度末時点の受任者数	14件	前年度1件増 後見9件、保佐3件、補助2件													
備考	・R6. 3. 31 現在 法人後見支援員数 20名（前年度比 増減なし） 稼働支援員数 13名（前年度比 1名増）事務補助の支援員を含む 担当ケース数 13件（前年度比 2件増） 1ケースに2名の支援員が対応ケースあり ※ただし、入所・入院施設の感染対策等による本人への面会制限により、活動休止のケースあり														

事業名	③市民後見人の養成・育成
事業内容	第三者後見を担う人材確保と、本協議会の法人後見受任事業の支援を行う人材確保のため、市民後見人の養成講座等を開催する。
対象者	市民
成果等	○令和6年度市民で支える成年後見制度講座～市民後見人講座～の開催

	○開催日 8/31（土）、9/28（土）、10/19（土）、11/30（土）、1/18（土）、1/25（土） 厚生労働省が提示している基本カリキュラムを参考に科目を組む ○会場 江津ひと・まちプラザ ○受講申込者 18名（H30 修了者1名、H30 受講者1名、R2 修了者2名を含む） ○受講者 16名（H30 修了者1名、R2 修了者2名を含む） ○修了者 14名（H30 修了者1名、R2 修了者1名を含む） ○支援員への登録希望者 6名（男性60代3名、女性60代1名、女性50代2名） ○令和6年度市民で支える成年後見制度講座～市民後見人講座～において、スポット参加として科目の一部を①生活支援員・法人後見支援員、②一般への公開講座とした。 生活支援員・法人後見支援員の公開講座 <table><tr><th>期日</th><th>科目</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>R6. 8. 31</td><td>権利擁護の基本的な考え方（虐待・中核機関を含む）</td><td>4名</td></tr><tr><td>R6. 8. 31</td><td>民法の基礎（家族法、財産法）</td><td>4名</td></tr><tr><td>R6. 9. 28</td><td>戸籍制度～戸籍ってなあに？～</td><td>5名</td></tr><tr><td>R6. 10. 19</td><td>意思決定支援</td><td>5名</td></tr></table> 一般への公開講座 <table><tr><th>期日</th><th>科目</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>R6. 9. 28</td><td>高齢者・認知症の理解</td><td>2名</td></tr><tr><td>R6. 9. 28</td><td>障害者の理解（知的障害者、精神障害者、高次脳機能障害者）</td><td>1名</td></tr><tr><td>R6. 10. 19</td><td>市民後見人概論</td><td>4名</td></tr><tr><td>R6. 10. 19</td><td>日常生活自立支援事業/日常生活自立支援事業における生活支援員の活動紹介</td><td>2名</td></tr><tr><td>R6. 11. 30</td><td>障害者の理解（発達障害者）</td><td>1名</td></tr></table>	期日	科目	参加者数	R6. 8. 31	権利擁護の基本的な考え方（虐待・中核機関を含む）	4名	R6. 8. 31	民法の基礎（家族法、財産法）	4名	R6. 9. 28	戸籍制度～戸籍ってなあに？～	5名	R6. 10. 19	意思決定支援	5名	期日	科目	参加者数	R6. 9. 28	高齢者・認知症の理解	2名	R6. 9. 28	障害者の理解（知的障害者、精神障害者、高次脳機能障害者）	1名	R6. 10. 19	市民後見人概論	4名	R6. 10. 19	日常生活自立支援事業/日常生活自立支援事業における生活支援員の活動紹介	2名	R6. 11. 30	障害者の理解（発達障害者）	1名
期日	科目	参加者数																																
R6. 8. 31	権利擁護の基本的な考え方（虐待・中核機関を含む）	4名																																
R6. 8. 31	民法の基礎（家族法、財産法）	4名																																
R6. 9. 28	戸籍制度～戸籍ってなあに？～	5名																																
R6. 10. 19	意思決定支援	5名																																
期日	科目	参加者数																																
R6. 9. 28	高齢者・認知症の理解	2名																																
R6. 9. 28	障害者の理解（知的障害者、精神障害者、高次脳機能障害者）	1名																																
R6. 10. 19	市民後見人概論	4名																																
R6. 10. 19	日常生活自立支援事業/日常生活自立支援事業における生活支援員の活動紹介	2名																																
R6. 11. 30	障害者の理解（発達障害者）	1名																																
備考																																		

事業名	③権利擁護の普及啓発及び権利擁護人材の育成
事業内容	成年後見制度の利用を必要とする人が増加する中、親族後見人が得られず、弁護士・司法書士・社会福祉士等の専門職による第三者後見人が選任されるケースが増加している。今後もますます同制度の利用を必要とする人が増加することが予測されることから、社会貢献活動に意欲がある市民が第三者後見人になる“市民後見人”への期待が高まっている。そのため本協議会では、後見人等を担うことのできる市民後見人の養成や育成を行うとともに、本協議会が行う法人後見受任事業や日常生活自立支援事業を支援していただく法人後見支援員および生活支援員の養成・育成を図り、判断能力が不十分な人の権利擁護を図るための取組を行う。 法人後見支援員から担当しているケースを自身が市民後見人として受任したい意向があったため、市民後見人第1号誕生を目指して、R6. 10. 11に先進地である大田市成年後見支援センター（大田市社会福祉協議会）を視察した。その後、当該法人後見支援員が体調不良で、法人後見支援員を辞任したため、改めて市民後見人誕生にむけた体制整備を検討する。 また、判断能力が不十分な人のみならず、すべての人の自己実現、自己決定の尊重、権利行使が守られる社会の実現を目指し、権利擁護の理念の普及啓発を行う。
対象者	市民

成果等	①令和6年度権利擁護人材フォローアップ研修会 【1回目】 ○日 時 令和6年7月31日（土）9：45～12：45 ○会 場 江津ひと・まちプラザ2階会議研修室① ○講 義 「今、話題？相続登記について知ろう」 講師 松江地方法務局浜田支局 ①統括登記官 丸山 健二氏 ②係員 布村 壮史氏 ③係員 古山 脩平氏 ○参 加 者 生活支援員・法人後見支援員（対象は26名）・江津市在住で本講座に興味・関心がある人 21名（内訳：支援員10名、公開：11名） （成年後見制度普及啓発講演会でチラシ配布、社協広報紙7月号に掲載） 【2回目】 ○日 時 令和6年8月31日（土）9：15～10：40 ○会 場 江津ひと・まちプラザ2階会議研修室① ○講 義 「権利擁護の基本的な考え方（虐待・中核機関を含む）」 講師 江津市地域包括支援センター 主任 福田 可菜絵氏 ○参 加 者 未登録者（対象16名、うち2名は全参加を希望） 3名（全参加者を除く） （※未登録者：過去に市民後見人養成講座を受講した者で支援員に登録していない者） 令和6年度市民で支える成年後見制度講座～市民後見人講座～において、スポット参加で公募していない科目をフォローアップ研修会として対象者へ文書通知 【3回目】 ○日 時 令和6年10月23日（水）13：30～15：30 ○会 場 江津ひと・まちプラザ2階会議研修室①② ○演 習 「事例検討パート3」 講師 江津市基幹相談支援センター島根整肢学園 相談支援専門員 山尾 英和氏 相談支援センターえん 相談支援専門員 齊藤 建氏 ○参 加 者 生活支援員、法人後見支援員（対象は26名） 9名 ②成年後見制度普及啓発講演会 ○日 時 令和6年7月20日（土） 講演 9：30～11：05 事業紹介 11：05～11：10 相談会 11：25～12：25 ○会 場 江津ひと・まちプラザ2階ホール ○講 演 「成年後見制度って何？」～だれもが安心して暮らせる地域社会を目指して～ 講師 弁護士法人佐和法律事務所 弁護士 今城 崇氏 ○事業紹介 「中核機関の紹介」 担当 江津市地域包括支援センター 主任 福田 可菜絵氏 受講者 34名（相談員4名を含む） ○相 談 会 相談員は石見成年後見センターから5名 相談者 5組5名（うち2組2名は相談会のみ参加） ○そ の 他 従来の広報活動に加え、新たに防災無線放送やSNS 発信等に取り組み、受講のメリットを入れた広報媒体を作成し発信した。 ③広報紙による啓発活動 ・社協広報紙に専門家等の寄稿による「権利擁護コラム」を掲載 ・12月号に浜田圏域自立支援協議会主催の意思決定支援に関する講演会等の開催案内を掲載
-----	---

	内 容	執筆者
4月号	権利擁護で大切なこととは？ ～日常生活自立支援事業と成年後見制度 から考える意思決定支援～	全国社会福祉協議会中央福祉学院 主任教授 山下興一郎氏
7月号	生活保護制度について	江津市社会福祉事務所 (江津市社会福祉課生活支援係) 主任 岡本 卓氏
10月号	江津市子育てサポートセンターの取組み について	NPO 法人ちやいるどりーむ 理事長 牛尾 雅弘氏
12月号	任意後見制度って何？	弁護士法人佐和法律事務所 弁護士 今城 崇氏
2月号	司法福祉における権利擁護 ～罪を犯した人との関わりから考える～	島根県社会福祉士会 事務局長 深貝登志子氏
備 考		

Ⅲ 地域福祉を支える包括的支援体制づくり

(6) 再犯防止の推進

事業名	①高齢者等生活支援体制整備事業【再掲Ⅰ-(2)-④参照】
事業名	②生活福祉資金貸付事業【再掲Ⅲ-(1)-⑦参照】
事業名	③民生基金貸付事業【再掲Ⅲ-(1)-⑧参照】
事業名	④ふれあい福祉センター総合相談事業【再掲Ⅲ-(1)-⑨参照】
事業名	⑤広報紙の発行およびホームページの更新【再掲Ⅲ-(2)-①参照】
事業名	⑥日常生活自立支援事業【再掲Ⅲ-(5)-①参照】
事業名	⑦生活困窮者自立支援事業【再掲Ⅲ-(1)-⑫参照】
事業名	⑧緊急一時食糧支援事業（フードバンク事業）【再掲Ⅲ-(3)-②参照】
事業名	⑨入居債務保証支援事業【再掲Ⅲ-(3)-④参照】
事業名	⑩社会福祉活動基金事業（福祉団体助成）【再掲Ⅲ-(4)-④参照】

Ⅲ 地域福祉を支える包括的支援体制づくり

(7) 団体事務の受託

事業名	①江津市民生児童委員協議会（団体事務の受託）
事業内容	江津市民生児童委員協議会事務事業を全面的にバックアップし、その事業の円滑な推進を図る。 (1) 協議会事業計画、予算、決算、会計事務等の受託 (2) 各種会議の開催（理事会及び単位民児協正副会長・主任児童委員・女性民生委員児童委員代表者合同会議、正副会長会、部会等） 令和6年度 10回開催 (3) 各種研修会の開催（全員研修会） (4) 各種福祉事業への協力（主催・共催） (5) 江津市民児協以外が開催する各種会議・研修会への参加調整 (6) 各民生委員・児童委員への情報提供 (7) 各民生委員・児童委員への活動助言 (8) 互助事業
対象者	民生委員・児童委員 110 名
成果等	○民生委員・児童委員の資質向上 → 地域住民の生活改善 ○各民生委員・児童委員の負担軽減 ○民児協の多端な事務一切を処理し、その活動の充実化を支援した。
備考	

事業名	②江津市老人クラブ連合会（団体事務の一部受託）
事業内容	社会福祉協議会にとって、最も身近な高齢者の自主的地域組織であるため、その活動をバックアップし、円滑な推進を図る。 平成 28 年度からは市老連に専任の事務局長が配置されたことにより、本協議会は業務の一部を受託し、側面支援を行う。
対象者	(R6. 3. 31 現在) 単位老人クラブ数（休会クラブを除く） 15 クラブ（前年度比 5 クラブ減） 会員数 457 人（前年度比 41 人減）
成果等	○日常的な業務の支援 ○事務局長不在時の対応（報告書・金銭の授受、電話・来所対応）
備考	

事業名	③江津市共同募金委員会（団体事務の受託）
事業内容	共同募金委員会諸活動をするための窓口業務等を行った。募金は県共同募金会へ送金されるが、翌年度その約 7 割程度が社協をはじめとする市内の福祉団体等に助成され、地域福祉推進の主要な財源である。 (1) 共同募金助成計画の立案 (2) 共同募金の推進 (3) 収入・支出等の会計事務 (4) 県共募との連携・調整
対象者	市民、事業者
成果等	○各地区での戸別募金、街頭募金、法人募金、イベント募金、職域募金等を実施 ○令和 6 年度実績額（一般募金） 7, 682, 654 円（前年度比 33, 519 円減） （テーマ型募金） 77, 507 円 ○令和 6 年度助成額 5, 925, 890 円（老人給食サービス事業等 38 事業に助成）
備考	・江津市地域対象事業数 38 事業の内訳 （本協議会 7 事業、市共募[公募枠] 3 事業、社協支会 23 事業、その他団体 5 事業）

事業名	④日本赤十字社島根県支部江津市地区（団体事務の受託）
事業内容	○赤十字諸活動をするための窓口業務等で概ね次のような活動を行っている。 (1) 社資募集 (2) 救急法等赤十字各種講習 (3) 災害見舞金品の贈呈等 (4) 収入支出等会計事務全般 (5) 日赤県支部との連絡調整 (6) 赤十字思想普及キャンペーン (7) 災害義援金の受付 ○大災害時の救援活動のみでなく、平素の小災害救援、救急法や幼児安全法等の講習を行う等、身近なところでの活動も多い。
対象者	赤十字社員（江津市民）
成果等	○社資の募集を中心に事務局として、赤十字諸活動の末端事業を受持っている。 ○令和6年度社資募集実績額 5,254,782 円（前年度比 26,589 円減） （募集目安額 700 円/世帯） ○令和6年度災害見舞金品贈呈件数 0 件（前年度比 3 件減） ○江津市内での災害非常食炊出し研修への参画・助成 1 件（前年度比 0 件）
備考	〔役員〕 江津市地区長・・・江津市長 副地区長・・・・・・江津市副市長、江津市社協会長 幹 事・・・・・・江津市社会福祉課課長補佐、江津市社協地域福祉課長